

目 次

はしがき
凡 例

第 I 部 総 論

第 1 章 憲法総論・憲法史	2
1 憲法・憲法典・立憲主義——憲法研究序説	2
2 近代日本憲法史	4
第 2 章 国民主権・天皇制	18
1 神勅天皇制から国民主権へ	18
2 国民主権と象徴天皇制	24
第 3 章 平和主義	32
1 憲法 9 条の成立まで	32
2 憲法 9 条の解釈	34
3 9 条 2 項解釈の歴史——「戦力」解釈の変化と憲法訴訟	36
4 「自衛権」解釈の変化——自衛力は、いつ行使できるのか	40
5 日本の軍事法制——日米安保と国際貢献	45

第Ⅱ部 統治機構

第 4 章 統治総論	50
1 国民主権・代表政・権力分立	50
2 代表政と選挙制度	64
3 政 党	69
第 5 章 国会と内閣	76
1 議会・政府間関係	76
2 国 会	80
3 内 閣	96
4 財 政	108
第 6 章 司 法	113
1 司法権の射程	113
2 裁判所の組織と権限	119
3 司法権の独立	126
第 7 章 違憲審査制	132
1 違憲審査権	132
2 日本の違憲審査制の実施	135
3 違憲審査と民主主義との関係	139
4 違憲審査という制度	145
第 8 章 地方自治	150
1 地方自治の意義と本旨	150

2	憲法上の地方公共団体	154
3	地方公共団体の組織	156
4	地方公共団体の権能	159
5	地方特別法	165

第Ⅲ部 基本的人権

第9章	人権総論・幸福追求権	168
1	人権総論——「人権」はどこまで認められるか	168
2	幸福追求権——「自由」はどこまで認められるか	184
第10章	法の下の平等	195
1	平等とは何か	195
2	憲法が保障する平等の範囲	200
3	判例の具体的展開	207
第11章	精神的自由1 思想および良心の自由・信教の自由	215
1	思想および良心の自由	215
2	信教の自由と政教分離原則	222
第12章	精神的自由2 表現の自由・学問の自由	235
1	表現の自由の価値と違憲審査	235
2	表現の自由の一般法理——規制類型に即して	238
3	表現の自由の特殊法理——報道機関の自由と大学の自治	252

第13章	経済的自由と労働権	260
1	社会の経済的成り立ちと人々の置かれた位置	260
2	財産権	262
3	職業選択の自由	268
4	居住・移転の自由、国籍離脱の自由	273
5	労働に関する権利	274
第14章	生存権と教育を受ける権利	284
1	生存権	284
2	教育を受ける権利	291
第15章	選挙権と投票価値の平等	299
1	選挙権	299
2	投票価値の平等	301
第16章	人身の自由と適正手続	307
1	はじめに——本章の射程	307
2	刑事裁判の前——捜査と逮捕	310
3	刑事裁判	314
4	刑事裁判の後——刑罰の執行、再審	316
5	行政手続における適正手続主義	317
6	冤罪、捜査・取調べの可視化、「刑事司法改革」	318
第17章	国務請求権	321
1	はじめに——国務請求権とは何か	321
2	裁判を受ける権利	322
3	国家賠償請求権	325

4 刑事補償請求権 327

5 請 願 権 327

第Ⅳ部 最高法規

第18章 グローバル化と憲法 330

1 「国家主権」の相対化 330

2 「国民国家」の相対化 335

3 「国民国家」への回帰? 341

第19章 憲法の最高法規性と憲法改正 346

1 憲法の最高法規性 346

2 憲法の保障 347

3 憲法の変動 352

4 立憲主義と憲法改正 361

判例索引

事項索引